

小山工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	文学
科目基礎情報					
科目番号	0025		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	電気電子創造工学科		対象学年	4	
開設期	通年		週時間数	1	
教科書/教材	特になし。適宜、配布する。				
担当教員	山崎 明				
到達目標					
1.日本の文学・文化に親しみ、言語表現に関心を持つことができる。 2.日本文学史の知識を有し、その大概を説明することができる。 3.古典作品に対して、現代的な視点から多面的に考察することができる。 4.発表やレポートにおいて、事前に文献等を調査し、それを論理的に表現することができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	日本の文学・文化に積極的に親しみ、言語表現にも特別な関心を持つことができる。		日本の文学・文化に親しみ、言語表現に関心を持つことができる。		日本の文学・文化に積極的に親しめず、言語表現にも特別な関心を持つことができない。
評価項目2	日本文学史の知識を明確に有し、その大概を正確に説明することができる。		日本文学史の知識を有し、その大概を説明することができる。		日本文学史の知識を明確に有しておらず、その大概を正確に説明することができない。
評価項目3	古典作品に対して、現代的な視点から多面的に考察することができる。		古典作品に対して、現代的な視点から考察することができる。		古典作品に対して、現代的な視点から多面的に考察することができない。
	発表やレポートにおいて、事前に文献等を調査し、それを論理的に表現することができる。		発表やレポートにおいて、事前に調査し、それを表現することができる。		発表やレポートにおいて、事前に文献等を調査できず、それを論理的に表現することができない。
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 ① 学習・教育到達度目標 ② 学習・教育到達度目標 ⑥ JABEE (B) JABEE (D) JABEE (E)					
教育方法等					
概要	日本文学を時代順に上代・中古・中世・近世・近代・現代と分けて、それぞれの時代の代表的な作品について、調べてきたことを発表し、日本文学史の概要を理解する。				
授業の進め方・方法	前・後期2回のパワーポイントを用いた口頭発表と、それを踏まえた小論文(レポート)2本の提出によって総合的に評価する。また、毎回の授業に対する取り組みへの積極性によっても評価する。				
注意点	口頭発表を40%程度、小論文(レポート)を40%程度、課題提出物等、授業に対する積極性を20%程度で評価する。参考書に、鈴木健一編『千年の百冊 あらすじと現代語訳でよむ日本の古典 100冊スーパーガイド』(小学館)。他は授業中に適宜紹介する。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	1. ガイダンス、発表割り振り		
		2週	2. イントロダクション		
		3週	3. 上代文学①『古事記』、『日本書紀』	上代文学について理解する。	
		4週	4. 上代文学②『万葉集』、『日本霊異記』	上代文学について理解する。	
		5週	5. 中古文学①『竹取物語』、『菅家文草』	中古文学について理解する。	
		6週	6. 中古文学①『古今和歌集』、『土佐日記』	中古文学について理解する。	
		7週	7. 中古文学②『伊勢物語』、『枕草子』	中古文学について理解する。	
		8週	8. 中古文学③『源氏物語』	中古文学について理解する。	
	2ndQ	9週	9. 中古文学④『源氏物語』	中古文学について理解する。	
		10週	10. 中古文学⑤『今昔物語集』、『和漢朗詠集』	中古文学について理解する。	
		11週	11. 中世文学①『小倉百人一首』、『平家物語』	中古文学について理解する。	
		12週	12. 中世文学②『方丈記』、『徒然草』	中古文学について理解する。	
		13週	13. 小論文・レポートの書き方について①	小論文・レポートの書き方について理解する。	
		14週	14. 芸能鑑賞①	日本文学・文化を理解する。	
		15週	15. 芸能鑑賞②	日本文学・文化を理解する。	
		16週			
後期	3rdQ	1週	1. 近世文学①『好色一代男』、『奥の細道』	近世文学について理解する。	
		2週	2. 近世文学②『曾根崎心中』、『勧進帳』	近世文学について理解する。	
		3週	3. 近世文学③『雨月物語』、『東海道中膝栗毛』	近世文学について理解する。	
		4週	4. 近代文学① 森鴎外、夏目漱石	近代文学について理解する。	
		5週	5. 近代文学② 尾崎紅葉、泉鏡花	近代文学について理解する。	
		6週	6. 近代文学② 樋口一葉、志賀直哉	近代文学について理解する。	
		7週	7. 近代文学③ 宮沢賢治、芥川龍之介	近代文学について理解する。	
		8週	8. 近代文学④ 谷崎潤一郎、太宰治	近代文学について理解する。	
	4thQ	9週	9. 現代文学① 川端康成、三島由紀夫	現代文学について理解する。	
		10週	10. 現代文学② 大江健三郎、松本清張	現代文学について理解する。	
		11週	11. 現代文学③ 司馬遼太郎、村上春樹	現代文学について理解する。	
		12週	12. 小論文・レポートの書き方について②	小論文・レポートの書き方について理解する。	

	13週	13. 芸術鑑賞③	日本文学・文化を理解する。
	14週	14. 芸術鑑賞④	日本文学・文化を理解する。
	15週	15. まとめ	これまでの範囲を理解する。
	16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	論理的な文章を読み、論理の構成や展開の把握にもとづいて論旨を客観的に理解し、要約し、意見を表すことができる。また、論理的な文章の代表的構成法を理解できる。	3	
			代表的な文学作品を読み、人物・情景・心情の描写ならびに描写意図などを理解して味わうとともに、その効果について説明できる。	3	
			文章を客観的に理解し、人間・社会・自然などについて考えを深め、広げることができる。	3	
			文学作品について、鑑賞の方法を理解できる。また、代表的な文学作品について、日本文学史における位置を理解し、作品の意義について意見を述べるができる。	3	
			鑑賞にもとづく批評的な文章の執筆や文学的な文章（詩歌、小説など）の創作をとおして、感受性を培うことができる。	3	
			読書習慣の形成をとおして感受性を培い、新たな言葉やものの方を習得して自らの表現の向上に生かすことができる。	3	
			現代日本語の運用、語句の意味、常用漢字、熟語の構成、ことわざ、慣用句、同音同訓異義語、単位呼称、対義語と類義語等の基礎的知識についての理解を深め、その特徴を把握できる。また、それらの知識を適切に活用して表現できる。	3	
			情報の収集や発想・選択・構成の方法を理解し、論理構成や口頭によるものを含む表現方法を工夫して、科学技術等に関する自らの意見や考えを効果的に伝えることができる。また、信頼性を重視して情報を分析し、図表等を適切に活用・加工してコミュニケーションに生かすことができる。	3	
			他者の口頭によるものを含む表現について、客観的に評価するとともに建設的に助言し、多角的な理解力、柔軟な発想・思考力の涵養に努めるとともに、自己の表現の向上に資することができる。	3	
			相手の意見を理解して要約し、他者の視点を尊重しつつ、建設的かつ論理的に自らの考えを構築し、合意形成にむけて口頭によるコミュニケーションをとることができる。また、自らのコミュニケーションスキルを改善する方法を習得できる。	3	
		社会で使用される言葉を始め広く日本語を習得し、その意味や用法を理解できる。また、それらを適切に用い、社会的コミュニケーションとして実践できる。	3		

評価割合

	口頭発表	小論文	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	40	40	0	0	0	20	100
基礎的能力	40	40	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0